

地域課題解決型公民館支援事業

「柚子に夢を込めて」
～人を巻き込みながら柚子の里二川に～

益田市美都町二川公民館

1 二川地区の概要

人口 205人 世帯数 109戸
高齢化率 57.6%

(1) 桜、柚子、温泉の町二川

春には、沢山の桜が咲き、特産の柚子の白い花が咲き、一年中温泉の湯けむりが漂う静かな町二川。

一億円ふるさと創生事業で掘りあてた「美都温泉」は湯質も良く、多種多様なイベントがあり、地元野菜の産直市などもあり、賑っている。

特産の柚子は昭和52年頃から植え付けが始まり、島根県で一番の出荷量をあげている。高齢化で休耕田が増える中、地元の企業さんが、あっち、こっちの休耕田に柚子を植えて、それぞれに地区名を入れた看板を立て環境的にも景観的にも良くなり、柚子の町になって来ている。



美都温泉



柚子園

(2) 高齢化率の進む二川

平成25年3月に二川小学校が閉校になり子供の声がなくなった。現在、後施設利用として、青少年宿泊施設を建設する方向で動いている。

2 事業の趣旨

(1) 急激な人口減少

- ・ここ10年で120人～130人減

(2) 公共施設の閉鎖

- ・小学校、保育園、公営住宅の閉鎖

(3) 休耕田の増加

- ・耕作者の減少、耕作離れ

この3つの問題点を何とかしたい

3 具体的な取組内容

- ・協働の精神による紙芝居作成
郷土史会会長さんにより300年前のお話を聞き、昨年作成した紙芝居の枠を使って紙芝居の普及



紙芝居作り

- ・商品化と新製品

昨年発案した「柚子プリン」を商品化するためパッケージやチラシをプロのデザイナーさんと共に学ぶ

益田
工房
視察



- ・柚子こんにゃく作りを地元の食の達人に習う

蒟
蒻
作
り



- ・柚子の館（仮称）リノベーション
小学校跡施設を若い学生さんがリノベーション→（夢の発表会）

地元との交流会



- ・黒板アート作り
閉校になった小学校に卒業生が想いを込めて黒板アート作り



- (2) 二つの紙芝居の活用
 - ・小学校、中学校、イベント等で発表し、協働の精神を伝える
- (3) 学校跡施設が地域の宝として活かされ、交流人口の増加に繋がること
 - ・交流拠点として稼働するよう自治組織と共に進めていく。



二川小学校



ポリテクカレッジ島根学生さん

4 評価と成果

3つの「わ」で地域を盛り上げた

- (1) 「和」・・・なごみ
 - ・一つの目標に向かって勉強会をする事でなごみが出来た
- (2) 「輪」・・・実行
 - ・昨年、試行錯誤で出来た「柚子プリン」を商品化
- (3) 「環」・・・人材育成
 - ・若い学生さんと交流する事で、人を育てるのではなく、自分達が育った事に気づく

5 今後の課題と見通し

- (1) 商品化される柚子プリン「二川乙女」の拡大
 - ・「蓬の会」さんによる販売
 - ・柚子こんにゃくを特産品に

(文責：二川公民館主事 増野美智恵)